

児童の実態や地域に応じた題材を構成するための指導計画例を活用した指導計画作成の手引

消費者を取り巻く現状と課題から、自立した消費者を育成する実践的な消費者教育は、喫緊の課題となっている。現行の学習指導要領は、消費者教育に関する学びを充実した形で改訂されており、小学校家庭科においても、消費者教育の充実が求められている。本研究では、消費者教育に関わる内容である「C消費生活・環境」の学習の充実のために、家庭科を担当する教員が、題材の構成をし、指導計画を作成するための指導計画例とその活用の手引を作成した。

指導計画例を活用した指導計画作成の手順

- 手順1 児童を対象に、「学習前アンケート」を実施する。
- 手順2 「題材を構成するためのチェックリスト」をチェックする。
- 手順3 チェックした項目を参考に、「題材全体の学習の流れの一覧」から活用する指導計画例を選択する。
- 手順4 「選択・重点化できる部分」から、①題材の導入、②実践活動（購入するものを選ぶ活動）、③題材のゴールの活動を選択し、必要に応じて重点化したい部分を決める。
- 手順5 指導計画の項目にある「題材構成のポイント」をまとめる。

手順1 「学習前アンケート」（児童）を実施する

1	おうちの人と買物に行ったことはありますか。	買物の経験等
2	→ 買物に行く頻度	
3	→ 買物に行くお店	
4	おうちの人と買物に行った際、自分で買う物を選んだ経験はありますか。	
5	→ 選んだもの	
6	今まで一人で（または子どもだけで）買物をした経験はありますか。	困った経験
7	→ 一人で（または子どもだけで）買物をした経験の回数	
8	→ 買ったもの	
9	買物で困ったり、失敗したりした経験はありますか。	
10	→ その時の対処法	
11	おうちの人が買物で困ったり、失敗したりした話を聞いたことはありますか。	いろいろな購入・支払い
12	インターネットを使って、自分で選んで買物をした経験はありますか。	
13	→ 何を買いましたか。	
14	ゲームや音楽、マンガなど、インターネット上で課金（料金を支払うこと）をした経験はありますか。	
15	→ それは何ですか。	
16	バスカードや図書カードをはじめとするプリペイドカード（お金の支払いができるカード）を使った経験はありますか。	

※【印刷用】と【Excel版】があります。

手順2 「題材を構成するためのチェックリスト」（担当教員）を実施する

チェック	活用する指導計画例	重点化
1	買物の経験が多い	1-1
2	買物で困ったり、失敗したりした経験のある児童が、ある程度いる	1-1
3	児童のアンケート	1-2
4	買物の経験が少ない	重点化
5	現金以外の購入や支払いの経験のある子が、ある程度いる	重点化
6	その他（ ）	重点化
7	児童の状況 ※必要に応じて記入	重点化
8	いろいろなお店（大型店、地域に根付いた商店、コンビニエンスストア等）がありますか	1-1
9	地域の状況（販売）	1-1
10	地域にお店がほとんどない地域ですか	1-2
11	学校行事	2-1
12	お世話になった人への感謝の会等、買物を取り入れることができる行事はありますか	2-2
13	家庭科の学習で、買物を取り入れることができる内容を予定していますか	2-2
14	家庭科の食生活の学習で、家庭実践を予定していますか	2-3
15	家庭科の衣生活の学習で、ずしい着方の学習が近くにありますか	2-4
16	環境に関する学習の経験はありますか	1-3
17	総合的な学習の時間に、地域の特産品の栽培、飼育、製造に関わる機会はありますか	3-2
18	特産品（食品）を栽培、飼育、製造する人と関わる学習はしていますか	3-1
19	地域の状況（特産品）	3-1
20	特産品（食品）を栽培、飼育、製造する様子を児童が目にする機会はありますか	3-1

※チェックした内容と関連する指導計画例を示しています。

手順3 活用する指導計画例を選択する

学習の流れ	指導計画例選択のポイント	選択①題材の導入	題材の学習課題	選択②実践活動（購入するものを選ぶ活動）	選択③題材のゴールの活動	重点化できる学習活動
生活経験や地域性に合わせて買物との関わりを想起して課題を設定し、よりよい消費生活のために自分にできることを考える。	・地域のお店の種類や買物の経験が多い地域である ・地域のお店も買物の経験も少ない地域である ・環境に関わる学習を行っている	1 買物で気を付けていること（買物の経験） 2 買物の疑似体験（体験活動） 3 環境と買物との関わり（既習事項との関連）	よりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろうか。 環境と買物との関わり（既習事項との関連）	・文具（ノート、筆箱、ペン、のり等） ・豆腐 ・卵 ・お菓子 ・野菜（ねぎ、じゃがいも、キャベツ等） ・加工品（ハム、ベーコン、ウィンナー等） ・飲料 ・Tシャツ ・水筒 ・布 ・地域の特産品（野菜、果物、牛乳、ヨーグルト等） ・育てたもの（米、野菜等）	よりよい買物をするために自分にできることをまとめ、発信する。 例 ・「よりよい消費者宣言」 ・「環境を守る買物の仕方」 ・「買い物名人〇か矣」	○情報活用能力の育成 ・情報の収集 ・情報の分類、整理 ・情報モラル ・セキュリティ ○言語能力の育成 ・意見交流 ・アンケート ・インタビュー ・模擬体験 ・ロールプレイング ○現金以外のお金の使い方
学校行事や他内容と関連させて課題を設定し、目的に合った購入やよりよい消費生活のために自分にできることを考える。	・買物の場面がある行事がある ・材料選びと購入をする行事がある	1 修学旅行の買物（買物の場面がある行事との関連） 2 お世話になった人への感謝の会（材料選びと購入をする行事との関連）	目的に合ったよりよい買物をするためには、どのようにしたらよいのだろうか。	※題材全体を通した指導の流れに合わせて決める ※回数を決める 例 1 ①（導入と選び方） 2 ②（選び方で振り返る）	これら自分の買物に活かしたいことをまとめ、発信する。 例 ・「買い物名人〇か矣」 ・買物の仕方パンフレットをまとめる	※必要に応じて題材の学習活動に取り入れる
地域の特産品（食品）や学校での栽培体験の想起から課題を設定し、生産者にも目を向けるよりよい消費生活のあり方を考える。	・地域の特産品がある ・学校での栽培体験がある	1 3年生の社会の学習の想起（地域の特産物や作り手） 2 学校での栽培体験を想起（栽培の思い、苦労）	みんな（作った人、自分等）にとってよりよい買物にするためには、どのようにしたらよいのだろうか。	【選択するポイント】 ・児童が購入経験のある物 ・児童が身近に使う物 ・みんなが持っている物の中で、選ぶ観点が多い物や分かりやすい物 ・題材全体の指導の流れに関わる物（行事、家庭科、特産品、栽培体験等） ・環境に配慮した商品がある物 ・授業で扱いたい買物の観点で選ぶことができる物（種類、額度、品質、期限、安全性等）	みんなにとってよりよい買物にするために自分にできることをまとめ、発信する。 例 ・「よりよい消費者宣言」 ・「買い物名人〇か矣」 ・生産者さんへの手紙	

手順4 指導計画例を活用し、選択、重点化する部分を決める

手順5 題材構成のポイントを記入する

The screenshot shows a lesson plan template with several key areas highlighted in red boxes:

- 選択① (Selection 1):** A red box highlights the 'Introduction' section of the lesson plan, indicating the chosen topic.
- 選択② (Selection 2):** A red box highlights the 'Practical Activity' section, indicating the chosen activity.
- 選択③ (Selection 3):** A red box highlights the 'Goal' section, indicating the chosen goal.
- 重点化 (Emphasis):** A large red box labeled '重点化' (Emphasis) covers the 'Learning Points' and 'Evaluation' sections, indicating where to focus on specific content.
- 題材構成のポイント (Topic Composition Points):** A red box at the bottom highlights the 'Topic Composition Points' section, where specific details are noted.

- ・ 選択する部分は3か所
- ・ 重点化は必要に応じて

具体的な内容は、裏面を参照

指導計画の完成

○本手引を含めた研究成果物は、岩手県立総合教育センターのWebページに掲載しております。
<https://www1.iwate-ed.jp/04kenkyu/111gika.html>

- 【研究成果物】
- ・ 指導計画例、活用の手引
 - ・ 学習前アンケート
 - ・ 題材を構成するためのチェックリスト
 - ・ 題材全体を通した学習の流れ
 - ・ 各時間の指導略案、ワークシート（参考用）



家庭科の学習の充実に向けたポイント

- 1 題材の導入で、問題を見いだして課題を設定する学習活動を行う
- 2 購入する物を選ぶ活動（実践的・体験的な活動）を通して学ぶ
- 3 教科の見方・考え方を働かせて考える
- 4 題材の学習の最後には、自分の生活における実践について考える
- 5 教科の評価の仕方に基づいて評価をする ※「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」参照

学習の充実に向けたポイント

指導計画作成の手順

授業の際に着目する部分

指導計画作成に活用する指導計画例は、下記①～③の考え方に沿って作成しています

考え方① 「C消費生活・環境（1）」の指導事項を網羅する

考え方② 実態把握を基に、学習と生活を結び付けて考えることができる題材の学習の流れにする

考え方③ 購入する物を選ぶ活動を設定する

手順3 指導計画例の選択

1 問題を見いだして、課題を設定する

※この活動を丁寧に扱い、児童が学習と生活を結び付けて考えられるようにします。

手順4-1 選択①～③

2 購入する物を選ぶ活動

※実践的・体験的な活動を通して、生活の中で実践できる資質・能力を育成します。

4 今後の実践について考える

※生活に戻して学習をまとめます。「実践しようとする態度」の評価（主体③）を行います。

各時間の課題例、学習活動例等

※ここに示す内容は、例となります。必要に応じて変更し、右の「その他メモ」欄に書き込みます。

計画例1	題材名	よりよい買物の仕方を考えよう
<p>既習事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 【3年社会】地域にみられる販売や生産の仕事 【4年社会】県内の特色ある地域の様子 	<p>題材で育成する資質・能力</p> <ul style="list-style-type: none"> 買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の大切さや計画的な使い方、身近な物の選び方や買い方について理解するとともに、購入するときに必要な情報の収集・整理に係る技能を身に付ける。 身近な物の選び方や買い方についての問題を見いだして課題を設定し、多様な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、生活を振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。 	<p>家庭科の系統性</p> <ul style="list-style-type: none"> 【6年】環境に配慮した生活 【中学校】金銭の管理と購入・消費者の権利と責任・消費生活・環境についての課題と実践
<p>教科・他内容（5年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【社会】我が国の農業や水産業における食糧生産（道徳）「もったいない」（環境保全と自分の関わり） 【他内容】内容B衣食住の生活（2）調理の基礎 		
<p>学習過程</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活の課題発見 解決方法の検討と計画 課題解決に向けた実践活動 実践活動の評価・改善 	<p>時間</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	<p>学習活動・学習内容</p> <p>選択①～③ ○課題例 ○学習活動例</p> <p>第1次（1時間） ①題材の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今までの買物を振り返り、学習の課題を見つめよう。地域にいろいろなお店を想起する。 ・買物の経験（気を付けていること、失敗談等）を話し合い、買物の様子を振り返る。 題材の学習課題を確認し、自分の課題を設定する。 <p>題材の学習課題</p> <p>よりよい買物をするためには、どのようにしたらよいだろう。</p> <p>①題材のゴールの活動：</p> <p>第2次（4時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近なお金の流れや買物について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭のお金の流れから、自分の生活とお金の関わりについて考える。 ・買物が成立する場面を考える活動から、買物の仕組みを知る。 ○身近な物の買い方について知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・買物の手順とそれぞれの手順におけるポイントを話し合っ確認する。 ・いろいろな購入や支払い方法について知る。 ・おこづかいの使い方考える活動から、物や金銭の計画的な使い方を知る。 <p>実践活動</p> <p>②購入する物を選ぶ活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○よりよい買物をするためには、どのようにしたらよいだろう。（2時間の課題） ・購入する物の情報を収集、整理する。 ・情報を基に根拠をもって意思決定する。 購入する物を選んだ理由を交流する。 <p>○よりよい買物をするためには、どのようにしたらよいだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を選ぶ際の観点をまとめる。 ・商品についての表示やマークについて知る。 ・自分の今までの買物を振り返る（評価・改善する）。 <p>第3次（1時間） ③題材のゴールの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材の学習を振り返り、「よりよい消費者宣言」をまとめよう。 ・「消費者の役割（大切なこと）」を話し合う。 ・題材で学習したことを活用して、「よりよい消費者宣言」を作成する。（自分の課題の解決につなげる） ・題材の学習を振り返る。 <p>児童の学び</p> <p>よりよい買物をするためには、収支のバランス、値段、分量、品質、本当に必要な、使いきれぬか、環境への影響など様々なことをよく考えて、自分に合った意思決定をすることが大切である。</p>

学習のポイント

※各時間の指導のポイント、学習のキーワードとして指導事項を示しています。

題材の評価規準（評価場面に合わせて具体化したもの）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①買物のしくみが分かり、物や金銭の大切さと金銭の計画的な使い方について理解している。</p> <p>②消費者の役割や身近な物の買い方について理解している。</p> <p>③身近な物の選び方を理解して、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p>	<p>①物や金銭の使い方と買物について問題を見いだして課題を設定している。</p> <p>②身近な物の選び方、買い方について買物の計画を考え、工夫している。</p> <p>③身近な物の選び方、買い方について、計画を評価したり、改善したりしている。</p> <p>④物や金銭の使い方と買物について課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。</p>	<p>①物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。</p> <p>②物や金銭の使い方と買物について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>③物や金銭の使い方と買物について工夫し、実践しようとしている。</p>
※知識・技能は確認テスト等での見取りも必要		

5 題材の評価規準（具体化したもの）と各時間の評価の計画

※評価場面に合わせて具体化した評価規準と、各時間の評価の計画を示しています。見通しをもって評価を行いましょう。（特に「思考・判断・表現」の評価を適切に行うことがポイントです）

学習のポイント	重点化した部分（その他メモ）	働かせる見方・考え方	各時間の評価の計画
<p>☆学習のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を見つめ、課題を設定できるようにする（題材の学習課題）（自分の学習課題） ☆消費、消費者 ☆物や金銭の大切さ（収入、支出、有効に使う） ☆買物の仕組み（売買契約、義務） ☆身近な物の買い方 ☆物や金銭の計画的な使い方 ☆支払い方法 ☆身近な物の選び方（買物の観点：値段、品質、分量、環境への配慮等）（表示やマーク） ・情報を収集し、整理して、多様な観点から比較し検討する ☆消費者の役割 → 第6時でも可 （☆消費者の役割） ・身近な消費生活をよりよくするために、自分の生活でできることを考える ・課題に対するまとめや学習の振り返りをする。 	<p>○健康・安全</p> <p>◎持続可能な社会の構築</p>	<p>知・技</p> <p>思判表</p> <p>主体</p>	<p>①</p> <p>設定した課題</p> <p>①</p> <p>本時のまとめ</p> <p>②</p> <p>本時のまとめ</p> <p>②</p> <p>意思決定の理由</p> <p>③</p> <p>評価・改善の内容</p> <p>④</p> <p>よりよい消費者宣言</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>各時間の振り返り</p> <p>まとめ</p>
※学習後の確認テスト等			
<p>題材構成のポイント</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>※選択・重点化した意図（必要に応じて記入）</p>			

手順4-2 重点化

※重点化したい内容があれば、書き込みます。
↓
重点化に伴い、左の学習活動等に変更があれば、書き込みます。

3 働かせる見方・考え方

※教科の見方・考え方を示しています。よりよい消費生活を工夫する上での拠り所となる見方・考え方です。

手順5 題材構成のポイント

※作成した指導計画のポイントをまとめます。